

梅の花が満開です。  
陽ざしの中に春を感じます。



止めまじょう！  
テロも戦争も  
日本共産党北区国会議員  
さがらとしこ  
区政レポート

日本共産党議員団  
2023.2.9. NO.1915.  
御相談はお気軽に  
TEL FAX とも 3905-0970  
さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ横ぐ)

# 「うれしいですね。給食無償化。」 葛飾.北.品川.足立.荒川.3の中央区も加わる!



●荒川区は、区立小中学校に加えて、幼稚園の園児にも対象を広げています。私は、私立に通う小中学生の皆さんもふくめて、区内のすべての子どもたちに広げてゆきたい。」と語る。秋山けんたろうさんです。(写真)



都営住宅の募集がおこなわれています。  
▶ご相談をおうけいたします。お急ぎ下さい。  
(3905)0970  
さがら・秋山事務所  
赤羽北3-23-17

東京都荒川区は6日、区立小中学校の給食を4月から完全無償化する方針を明らかにしました。同日発表の2023年度予算案に関連経費を計上しました。

## 荒川区 小中給食無償へ

無償化を打ち出したのは葛飾、北、品川、足立の各区に続くもの。区民の運動や日本共産党区議団の論戦が実りました。

区によると、対象となるのは区立小学校24校約9200人と区立中学校10校約3500人。小学校で年5万円、中学校で6万円ある現行の自己負担をなくします。所得制限は設けず、予算規模は7億5000万円を見込んでいます。

また、区立幼稚園8園の園児にも4月から弁当方式で給食を無償提供（現在は各家庭から弁当を持参）します。対象は3000人。

区は本紙の取材に対し、「物価高で影響を受けている子育て世帯を支援するもの。周辺区でも無償化を検討している中、地域格差を生じないように決断した」としています。



## 消費者団体共同で反対

敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有と防衛費増大に反対する消費者団体共同声明 記者会見

敵基地攻撃能力非戦の憲法に反する

記者会見と声明を発表する代表の岩田文雄政権が閣議決定した「安保3文書」について、主婦連合会と日本消費者団体連合会は2月6日、都内で記者会見を開き、「敵基地攻撃能力の保有と防衛費増大に反対する消費者団体共同声明」を発表しました。

説明の中で、生活協同組合のスローガンである「平和とよりよい生活のために」の根底にあるのは「二度と戦争を起こしてはいけない、起こさせてはいけない」という強い意志だと発言されたことについて、私もCOOP利用者の一人として、心強く思いました。

●今号も、裏面にご注目ください。前回の「ポト」とともに。

## 86号線控訴審の才2回目の裁判

2023.2月17日(金)午後2時~  
場所は東京地裁の中の101号法廷

●事前に地盤学専門家の準備書面が裁判所に提出されています。それに対する国と参加人の反論書面がなされる予定です。それに、原告側の弁護団が反論します。

●今回はバスは出ません。●報告会は裁判直後に予定されています。●原告団は、傍聴をよびかけています。

「敵基地攻撃」のイメージ

北は「平和都市宣言」のまちは「敵基地攻撃」が許せん。  
 「しんぶん赤旗」2023.2.8.付日刊の記事を紹介しています。<一部は>



極超音速高速滑空弾 (米レイセオン社)

一番の力きは、長射程のミサイルです。最初に導入されるのが、米国製の長距離巡航ミサイル・トマホークなど外国製ミサイルです。トマホークは米軍が核弾頭を搭載するために開発し、2000年代以降はイラクやアフガニスタンなどの先制攻撃戦争で繰り返し使用してきました。防衛省は一回の攻撃で数十発を同時に使う問題が、これらのミサイルを搭載するイジス艦、戦闘機を大量配備し、潜水艦からも発射しようとしていることです。日本の領域内にとどまらず、相手国の近くまで移動して攻撃が可能になります。日本は戦後初めて、「空爆」が可能になります。

# 戦後初めての「空爆」が可能

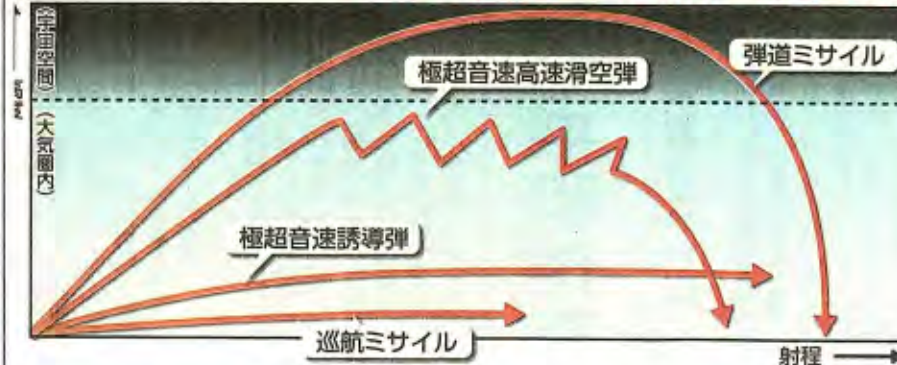
スタンド・オフ・ミサイルによる脅威圏外からの対処

(防衛省資料から)

沖縄本島から発射した場合の射程



長射程ミサイルの飛び方 <前号の「さくらレポート No.1914」のウラ面にも>



極超音速兵器は中国やロシアが既に配備し、米軍も開発を急いでいます。政府は「国家安全保障戦略」で、極超音速兵器を例示し、「既存のミサイル防衛網だけでは完全に対応することが難しくなりつつある」と説明。だから「反撃能力」が攻撃される前に相手の基地をたたく能力を持つのだとしています。

※ソリの衆院予算委員会で、米軍は「反撃能力」の追及に、首相は答弁不能となりました。

# 迎撃不可能な「最悪の兵器」

その先には、さらにおそろしい計画が待っています。「極超音速兵器」と呼ばれるミサイルの保有です。

トマホークの飛しよう速度は音速の4分の3程度ですが、極超音速兵器は音速の5倍(時速約6120km)以上。射程は2000km~3000kmに達し、軌道も自在に変えることができたため、既存のミサイル防衛網では迎撃不可能とされます。まさに最強・最悪の兵器です。

軍拡の悪循環 最後は核武装!